

新機種紹介 機関誌編集委員会

▶ 〈12〉 モータグレーダ、ロードスタビライザ、締固め機械およびソイルプラント

24-〈12〉-01	日立建機 タイヤローラ ZC220P-7	'24.10 発売 新機種
------------	-------------------------	------------------

本機種は「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）」2014年基準に適合している。また車体から発生する騒音を抑えており、国土交通省から「超低騒音型建設機械」の指定を受けている。

本製品の特長を記載する。一つ目の特長は樹脂製タンクを採用したことである。さびを発生させず、前回機種からメンテナンス頻度の低減や散水ノズルの詰まりを抑制する。タンクの容量は3,500Lである。また排水作業時に作業者が被水しないように設計している。排水口は通常はキャップ式であるが、オプションでひねって開け閉めができるボールバルブ式を選択することができる。二つ目の特長は独自のフレーム設計により運転席からの前後のタイヤの視認性が大幅に向上していることである。前のタイヤに関しては運転席に座った状態で操舵角度や散水状況、液剤の噴霧状況を確認することができる。また後ろのタイヤについても散水状況、液剤の噴霧状況を確認することができる。三つ目の特長はメンテナンスのしやすさである。メンテナンス箇所を車体の左側に集中させたことに加え、前回機種に対しエンジンの搭載向きを180度反転させたことで、ワンサイドメンテナンスを実現している。また作業スペースにはISO2867に準拠したハンドレールを設置しており、作業者の安全性を確保している。四つ目の特長は発進減速に関する操縦の簡便さである。走行負荷から作業状況を瞬時に判断しHSTポンプやモータを効率良く自動制御する「アクティブモータコントロール」を搭載している。これによりオペレーターの習熟度に左右されず、転圧面をきれいに仕上げることに貢献する。五つ目の特長は車体輸送時にキャノピの格納作業が不要なことである。車高が輸送高さ制限の3.8mをクリアできるように設計されている。六つ目の特長は機械の稼働状況などを蓄積する「Global e-Service（グローバルイーサービス）」にデータを送信する通信端末を搭載していることである。これにより道路機械の稼働状況・保守の遠隔管理を可能にしている。その他、バッテリーディスコネクトスイッチ、シートのアームレスト、LED作業灯などが標準装備になった。

表-1 ZC220P-7の主な仕様

運転質量	(kg)	12,795
機械質量	(kg)	9,200
水バラスト質量	(kg)	3,500
全長	(mm)	5,110
全高	(mm)	2,790
全幅	(mm)	2,275
ホイールベース	(mm)	3,850
最低地上高	(mm)	205
エンジン名称		クボタ V3307-CR-TE5
総排気量	(L)	3,331
エンジン定格出力	(kW/min ¹)	54.6/2,200
排ガス後処理装置		尿素レス /DPF
走行速度（低速）	(km/h)	10
走行速度（高速）	(km/h)	25
最小回転半径	(m)	6.2
登坂能力	%（度）	47（25）
締固め幅	(mm)	2,275
散水タンク容量	(L)	3,500
液剤タンク容量	(L)	28
燃料タンク容量	(L)	105
標準小売価格	(万円)	1,480

注）単位は国際単位系（SI）による表示。価格は工場裸渡し、消費税別。



写真-1 日立建機 ZC220P-7

問合せ先：日立建機株
 ブランド・コミュニケーション本部 広報・IR部
 広報グループ
 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号